

石川県地域医療再生計画(平成24年度第一次補正予算の活用)の概要

<基本的な考え方>

- 第6次医療計画において重点的な分野となっている、(1)医師確保対策、(2)看護師確保対策、(3)在宅医療対策、(4)災害医療対策を4本柱とした計画とする。
- 計画には、①現在の地域医療再生計画で定めた目標を達成するために継続が必要な事業と②第6次医療計画に盛り込まれた新たな課題に対応するための事業を盛り込む。
- これまでに再生基金事業で整備した施設・設備(例 金大病院CPDセンター、診療情報共有化システム等)を活用したソフト事業を盛り込み、更なる効果を上げる。

【これまでの取組】

1. 医師確保

- (1)金沢大学医学類特別枠による将来の医師確保(修学資金制度等)
- (2)能登北部の派遣医師等の支援
 - ・金大病院CPDセンターの整備
 - ・診療情報共有システムの整備等
- (3)地域医療を担う医師のキャリア形成支援
- (4)女性医師支援
- (5)寄附講座等による診療支援

2. 看護師確保

- (1)人材の養成(看護の魅力啓発、修学資金制度等)
- (2)看護師の定着の促進(離職防止)
(多様な勤務形態導入促進等)
- (3)再就業の促進(ナース情報ステーション)
- (4)資質の向上(認定看護師資格取得等)

3. 地域医療連携

- (1)在宅医療連携システム
 - ・在宅医療連携推進協議会や市民公開講座の開催等
- (2)在宅医療を担う人材の養成
 - ・終末期医療に関する研修会 等
- (3)認知症対策
 - ・県立高松病院における在宅支援チームの設置 等
- (4)がん・糖尿病等の対策
 - ・がん診療連携協力病院の支援 等

4. 災害医療

- (1)災害拠点病院等の設備・施設の整備
 - ・自家発電装置の整備
 - ・資機材(衛生電話・MCA無線・テント等)の整備
 - ・NBCテントの整備

【地域医療再生計画の積み増しによる取組】

1. 医師確保

- (1)金沢大学医学類特別枠による将来の医師確保
- (2)能登北部の派遣医師等の支援
 - ・金大病院CPDセンターにおける遠隔カンファレンスの開催
 - ・診療情報共有システムやTV会議システムを活用した派遣医師に対するコンサルテーションの実施
 - ・3次医療機関による消防防災ヘリのドクターヘリの運行
- (3)地域医療を担う医師のキャリア形成支援
- (4)女性医師支援

2. 看護師確保

- (1)人材の養成
- (2)看護師の定着の促進(離職防止)
- (3)再就業の促進
- (4)資質の向上

3. 在宅医療

- (1)在宅医療連携システム
 - ・在宅医療連携グループの整備 等
- (2)在宅医療を担う人材の養成
 - ・訪問看護師の養成・確保 等
- (3)認知症対策
 - ・認知症疾患医療センター等における在宅支援チームの設置 等
- (4)がん、糖尿病等の対策
 - ・がん診療連携推進病院の相談支援体制の整備

4. 災害医療

- (1)災害拠点病院等の設備整備
- (2)DMATの機能強化
- (3)災害初動対応力の強化

◎金大病院CPDセンターの活用等、派遣医師の支援体制を強化し、能登北部等の医師を継続的に確保

◎現在の取組を継続

◎各地域に在宅医療連携拠点や認知症疾患医療センターに準じた病院を整備
◎訪問看護師などの人材養成を強化
◎重症難病やがんなど在宅療養につなげるための連携を促進

◎災害拠点病院等の設備整備に取り組むとともに、災害初動対応力を強化

石川県地域医療再生計画（平成24年度第一次補正予算の活用） — 医師確保対策 —

<現 状>

- ◆短期的な対策（寄附講座の設置等）により、能登北部等の病院の医師数は、臨床研修制度の導入前の水準まで回復している。
- ◆中期的な対策（臨床研修医の定着）を進める中で、H22以降、県内の臨床研修医採用数は回復しており、県内大学病院の医師派遣機能は強化されている。

<今 後>

- ◆能登北部等の派遣医師の支援体制を充実させるとともに、派遣される医師（派遣予定の医師）のキャリア形成を支援し、能登北部等の医師を引き続き確保する。
- ◆長期的な対策（金沢大学医学類特別枠入学者の養成）を継続し、将来の地域医療を担う人材を確保する（H29以降、能登北部等の医療機関に勤務予定）

金沢大学医学類特別枠入学者の養成

- 修学資金の貸与
- 地域医療実習や進路相談を行う体制の確保

能登北部に派遣された医師等の支援

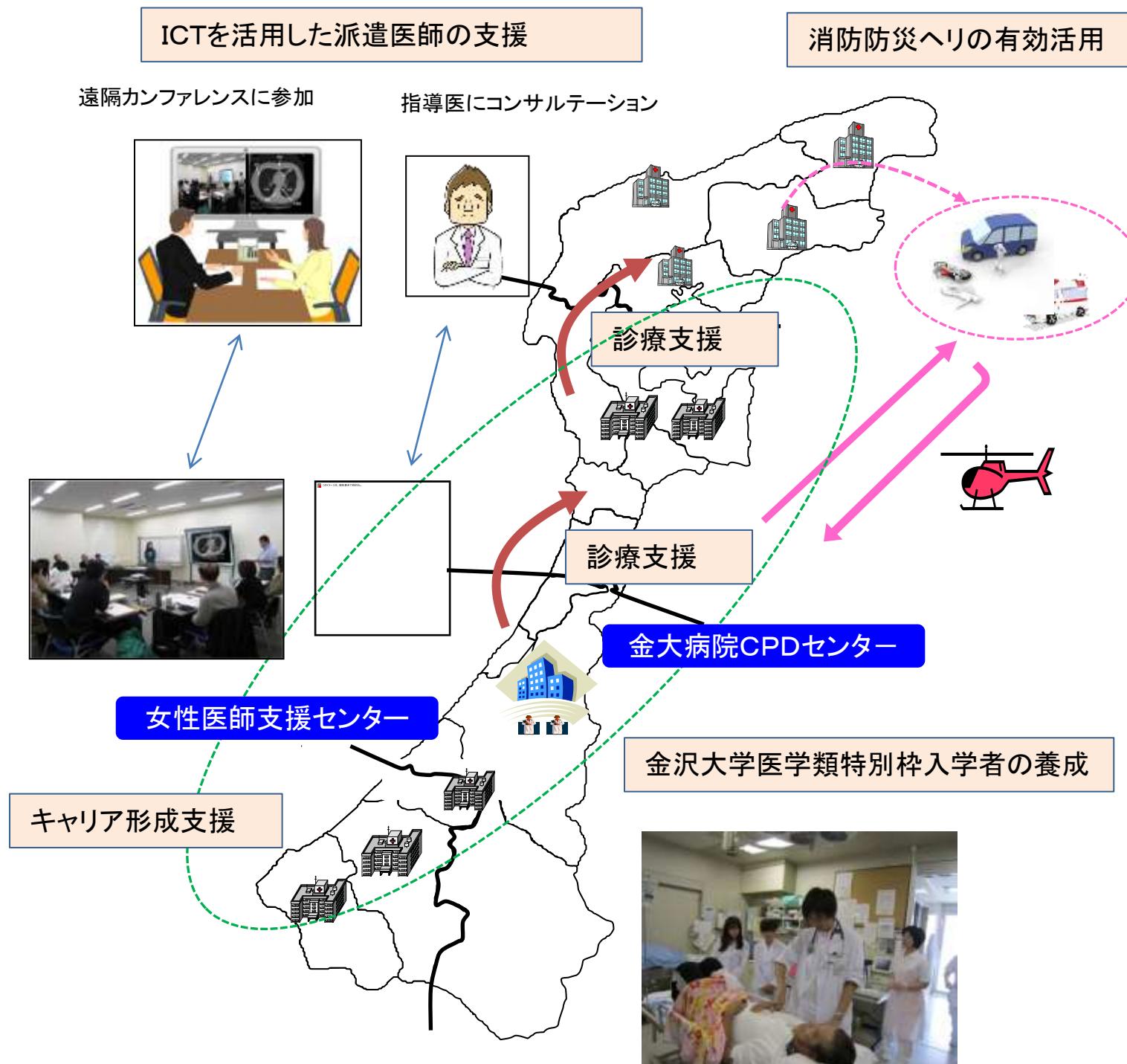
- 金大病院CPDセンターによる遠隔カンファレンスの開催
- 大学病院の指導医によるコンサルテーションの実施
- 3次医療機関による消防防災ヘリのドクターヘリの運航
- 大学病院や七尾市2病院からの指導医の派遣

地域医療を担う医師のキャリア形成の支援

- 救急医療専門研修（JATEC受講など）や国内外への留学などの支援
- 多職種から構成される研究会活動や地域住民と協働した活動等に対する支援

女性医師支援

- 女性医師支援センターの充実（女性医師支援セミナーの開催など）



<現 状>

- ◆看護師不足が深刻な能登地域の看護師を確保するため、修学資金貸与制度の拡充や中学、高校への出前講座を実施することなどにより人材養成を進めている。
- ◆離職防止を図るため、院内保育所の整備や多様な勤務形態など勤務環境の改善に取り組む病院を支援している。
- ◆看護師の資質の向上を進めるため、認定看護師の資格取得を支援し、県内初の認定看護師養成コースを開設することとしている。
- ◆結婚、育児等で職場を離れた看護師の再就業を促進するため、ナース情報ステーションを設置し、医療機関の勤務環境の紹介や、最新の看護実践技術に関するセミナーを開催することなどにより、再就業に向けた意識の向上や不安の解消を図る取組みを行っている。

<今 後>

- ◆医療の高度化・専門化に対応した看護体制の充実や在宅医療や介護分野でのニーズにより、引き続き、看護師確保対策に取り組む必要がある。

量と質の確保を！



人材の養成

- 中学生、高校生に向けた看護の魅力啓発
- 能登北部に勤務する看護学生へ修学資金を貸与
- 若手看護師のモチベーションアップのためのオーダーメイド研修 など

定着の促進(離職防止)

- 多様な勤務形態導入により勤務形態環境改善に取り組む病院の活動支援
- 病院内保育所整備支援

資質の向上

- 認定看護師資格取得希望者の支援
- 認定看護師を活用した様々な専門的看護実践力研修の実施
- 院内助産・助産外来導入の支援

再就業の促進

- ナース情報ステーションでの未就業看護師の把握、就業意欲向上や不安の解消による復帰支援

能登の看護師定着促進



進路決定

就業

キャリアアップ

セカンドライフ

石川県地域医療再生計画（平成24年度第一次補正予算の活用） —在宅医療対策—

<現状>

■本県では、在宅医療推進協議会の開催や各種研修会の開催、市民公開講座など在宅医療対策を推進している。

<今後>

■高齢者の増加が予測される中、在宅医療を必要とする患者の増加が見込まれており、各地域に在宅医療連携グループを整備し、多職種連携のための事例検討会の

開催や24時間365日の在宅医療の提供体制を構築する。

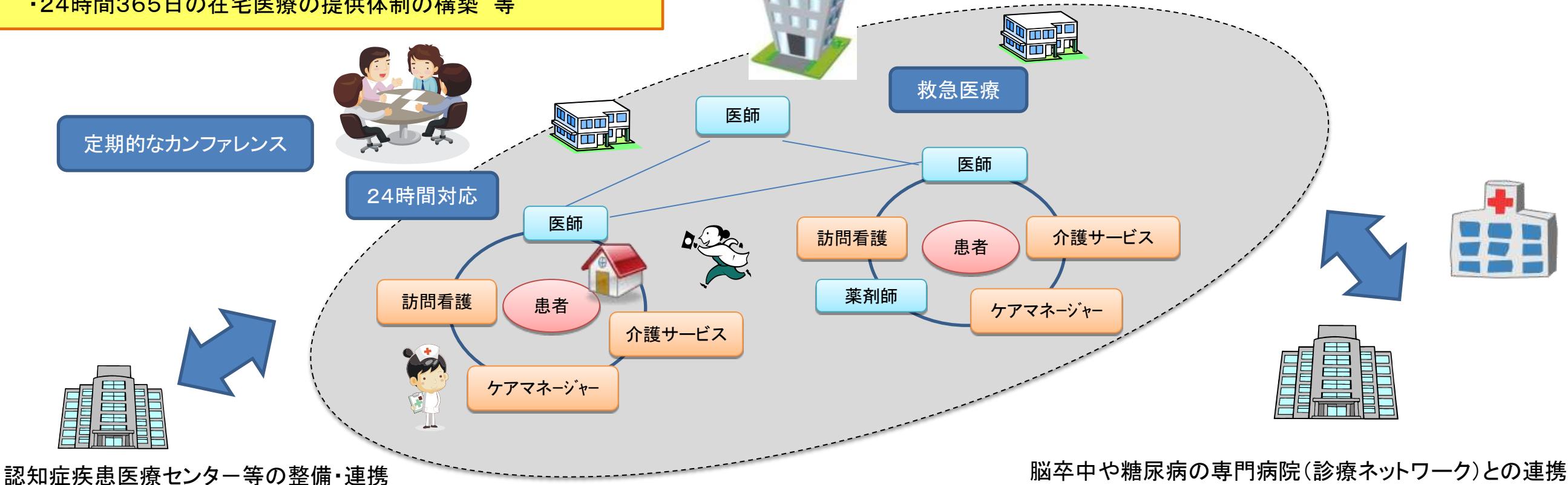
■認知症疾患医療センターなどの体制を強化するとともに、他の疾病別の診療ネットワークと在宅医療連携拠点との連携を強化し、様々な疾病を抱えながら在宅療養できる体制を構築する。

在宅医療連携システム

- 在宅医療連携推進協議会等の開催
- 市民公開講座など普及啓発の実施
- 在宅医療連携グループの整備
 - ・地域の医療・福祉資源の把握及び活用
 - ・研修の実施、事例検討会の開催
 - ・24時間365日の在宅医療の提供体制の構築 等

在宅医療を担う人材の養成

- 地域リーダーの養成
- 訪問看護師の養成・確保
- 歯科口腔ケアを担う人材の養成
- 無菌調剤室の整備と在宅訪問薬剤師の養成
- 終末期医療に関する研修会の開催 等



認知症対策

- 認知症疾患医療センター等における在宅支援チームの設置（ケア会議の開催など退院調整の充実、訪問診療の充実）
- ケアマネ対象の研修会の開催

がん、脳卒中などの診療ネットワークとの連携

- がん診療連携推進病院やがん患者サポートハウス等における診療・相談支援体制の充実
- 脳卒中や糖尿病などの診療ネットワークとの連携

<現 状>

■災害医療対策については、災害拠点病院やDMAT等の体制強化や医療資機材の整備を進めてきたところである。

<今 後>

■こうした取り組みを継続するとともに、大規模災害により被災地の医療機関において治療が困難な重症患者を、被災地外の医療機関へ広域搬送するための広域搬送臨時医療施設(SCU: Staging Care Unit)に必要な資機材等の整備や災害拠点病院の患者受入設備の整備を行うとともに、災害時の初動対応力の向上を図るため、災害医療をマネジメントする人材の育成や机上訓練等を実施するなど、災害医療体制を強化する。

患者受入等設備の整備

- 整備先: 災害拠点病院から選定
- 目的: ①広域搬送臨時医療施設(SCU)の設置(必要時に各病院から持ち込み)
②災害時の各病院の患者受入
- 整備物: 簡易ベッド、搬送用人工呼吸器、搬送用モニター、酸素ボンベ、災害医療用テント 等

DMATの機能強化

- 資機材の整備
- 通信機器の整備

災害医療初動対応力の強化

- 災害医療をマネジメントする人材の育成
 - ・机上訓練のインストラクターを養成
 - ・統括DMATの拡大
- 災害医療対応の実践の機会の確保
 - ・机上訓練の実施
 - ・高度な実働訓練の実施

